

2024年 学校説明会&イベント

学校説明会

- 第4回 7月13日(土) 10:00~
- 第5回 8月31日(土) 10:00~
同時開催「第1回 腕だめしテスト」
- 第6回 9月21日(土) 10:00~
- 第7回 10月14日(月祝) 10:00~
同時開催「第2回 腕だめしテスト」
- 第8回 11月9日(土) 10:00~
- 第9回 12月7日(土) 10:00~
説明会の中で「入試直前対策」を実施します

体験プログラム ※保護者様は同時開催の学校説明会に参加できます

腕だめしテスト 対象:小6

- 第1回 8月31日(土) [2科]国・算 10:00~12:00
[4科]国・算・理・社 9:00~12:00
- 第2回 10月14日(月祝) [2科]国・算 10:00~12:00
[4科]国・算・理・社 9:00~12:00

入試直前対策講座

12月7日(土) 10:00~

※学校説明会の中で実施いたしますので、保護者様もお子様と一緒に参加できます

学校周辺マップ



アクセス

東武日光線 杉戸高野台駅西口から

- 徒歩15分 ● スクールバス5分

JR宇都宮線・東武伊勢崎線 久喜駅東口から

- スクールバス10分 ● 自転車15分
- 路線バス5分 吉羽大橋バス停下車徒歩8分

東武伊勢崎線 和戸駅から

- 自転車8分

昌平中学校

〒345-0044 埼玉県北葛飾郡杉戸町下野851
TEL:0480-34-3381 FAX:0480-34-1050
SHOHEI <https://www.shohei.sugito.saitama.jp/contents/jhs/>

予約方法 各イベント実施2ヶ月前より
本校ホームページからお申し込みください。

推奨 <https://www.shohei.sugito.saitama.jp/contents/jhs/>



各イベントの詳細は、本校HPでご確認ください

手をかけ 鍛えて 送り出す

昌平中学校



SHOHEI

JUNIOR HIGH SCHOOL

SCHOOL GUIDE 2025



International Baccalaureate
国際バカロレア[IB]認定校・[DP]認定校



手をかけ 送り出す 鍛えて

子どもたち一人ひとりの未来の姿は、中高6年の間に大きく形づくられ彩りを得ます。

夢を探究する力や国際性を備えた、信念をもつ若者を土台から育てていきたい。

主体的に学び、考え、表現できる大人へと成長するのを見守りたい。

それが昌平の中高一貫教育にかける想いです。

熱意あふれる教員が理想の教育を日々実践し走り続けています。

子どもたちとともに、そして子どもたちを送り出す日のために。

校訓
明 勤 禮
朗 勉 儀

IB International Baccalaureate P. 5

PEP Power English Project P. 7

SDGs Sustainable Development Goals P. 11

環境 学習室とサポート体制 P. 15

合格 一貫7・8・9期生(228名) 大学合格実績(過去3年間) P. 16



IB

埼玉初
認定校

International
Baccalaureate
[MYP]



国際バカロレア教育
[中等教育プログラム]

世界基準のシステムを採用 ~変わり続ける社会で活躍するために~

IBは、国際バカロレア機構(本部: スイス、ジュネーブ)が提供する国際的な教育プログラムです。昌平中学校は、2015年3月1日にMYP(中等教育プログラム)の候補校になり、以降2年間をかけて研修、授業実践等を行ってきました。これらの取り組みが、IB機構による厳格な審査により認められた結果、本校は2017年3月17日よりMYPの認定校になりました。昌平中学校では1年生から3年生の全員を対象に、MYPの授業を日本語で行っています。また、2020年度には高等学校でも、DP(ディプロマ・プログラム)の授業を開始しました。



IBの理念

IBの理念は次の「IBの使命」、
「IBの学習者像」によって明確化されています

① IBの使命: IBの目的を示しています。

国際バカロレアは、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。この目的のため、IBは、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。

② IBの学習者像: IBの使命を具体的に人物像として示しています。

学校は学力だけをつける場ではありません。立派な大人になるため様々な経験をする場です。本校は2010年の中学校開校以来、学力と共に人間力の育成を掲げてきました。これはIBの使命、学習者像と重なり、IB導入によって強化されます。

IB授業の特色

IBの授業は調べ学習、発表、話し合い等、生徒が授業の中心となるものが多いです。これによって将来、社会に出た時に必要な思考力やコミュニケーション能力等が身につきます。さらに、自分の頭で考え、そして動くことが多いので授業内容が頭に残りやすいです。

- Inquirers..... 探究する人
- Knowledgeable ... 知識のある人
- Thinkers..... 考える人
- Communicators ... コミュニケーションができる人
- Principled 信念をもつ人
- Open-minded 心を開く人
- Caring 思いやりのある人
- Risk-takers 挑戦する人
- Balanced バランスのとれた人
- Reflective 振り返りができる人



Community Project

コミュニティ・プロジェクトとは

地元の農業を
守りたい
中3女子

MYPの奉仕活動の学習成果

MYPの生徒は、中学3年で、1年を通して適切な指導とサポートのもと、個人の興味や関心に基づき、「行動」としての奉仕活動に取り組みます。コミュニティ・プロジェクトは、次のような流れで進みます。

1. プロジェクトの目標を決め、計画する
2. 行動する
3. 行動をまとめ、発表する(卒業論文、発表会)



過去の活動例

現高1 一貫12期生

地域の活性化に興味のある私は、地元の野田市が『千葉県で知っている市町村』のアンケートで、20市町村中16位であることを知り、野田市の魅力を知ってもらうための動画作成をすることにした。野田市が応援ソングを広く知ってもらう活動をしはじめたタイミングだったため、PR推進室の方々や市長にとっても興味を持っていただき、協力の申し出をいただいた。その甲斐あって曲の使用許可もあり、たくさんの方の応援で無事に作成できた。



現高2 一貫11期生

私は、映画やゲームのCGに関心がある。存在し得ない美しい映像をあたかも本当に撮影したかのように見せる技術に感心するとともに、「虚偽」を信じてしまいそうになる自分に恐怖感を覚えた。調べていくうちにインターネット上のフェイクニュースに気付くことができなかった人が多数存在し、特に新型コロナ関連の情報は若い世代が気付いていないことが分かり、イベントでパンフレットを配布し、メディアリテラシーについての知識を深めてもらう活動を行なった。



現高3 一貫10期生

エコリサイクルの意識が求められる昨今、目の治療・矯正が適切に受けられずにいる人々に眼鏡を提供する活動を行っている企業に事前にアポイントメントをとり、メールを送付し、調査をさせていただいた。僕は「1人でも多くの方が快適な生活を送ることができるようにする」を目標とし、この企業の活動に参加することにした。結果的に僕の行動は地方紙に取り上げられ、新聞記事になった。



IBコース [DP] クラスの進路

高校進学時に希望によってIBコース [DP] クラスに進学することが可能です。 >>> P.13

IB [DP] クラス 1~3期生 大学合格実績 卒業生47名

国公立大
8名合格

東京外大、筑波大2、
東京学芸大2、岡山大、
横浜市立大、大阪公立大

早慶上理
8名合格

早稲田大、慶應義塾大、
上智大6

GMARCH
29名合格

学習院大1、青山学院大1、
立教大13、中央大3、
法政大11

海外大学
4名合格

Acadia、Taylor's 2、
Temple Japan Campus

海外大学への進学をサポートします

高校のIBプログラムであるDP(ディプロマ・プログラム)は大学入学資格として国内・海外の大学が高く評価しています。

IBでの学びが大学から高く評価されました

本校入学後、校内スピーチコンテストで優勝し県大会に進んで銅賞を受賞することもできました。また、ネイティブスピーカーの担任の先生には、IBの最終試験に向けたレッスンにもとことん付き合ってくださいました。世界基準のプログラムを軸としたIBコースでの様々な学びが、大学入学資格として高く評価されたことが嬉しいですね。タイとカンボジアで幼少期を過ごしたのですが、将来は外交官として、諸外国との橋渡し役になりたいと考えています。

東京外国語大学 言語文化学部 里永 愛花さん



MYP生の活躍

学校推薦型選抜(旧推薦入試)で東京大学 合格をつかむまで

東京大学 理科一類 合格
矢内 大雅さん
IB(国際バカロレア) MYP1期生(一貫6期生)



生物科学部に在籍し、「東京工業大学賞」を受賞

高校1年時に国内最大級の中高生のための学会、「サイエンスキャスル」関東大会において「自動受粉ロボット ポリネロイド」※の研究について発表。東京工業大学賞を受賞。将来的には、農業の人手不足と食糧問題を解決することを目指しています。 ※「自動受粉ロボット ポリネロイド」は、世界的に減少傾向にあるミツバチの代替として、果実等の人工授粉を行うロボットを開発する研究です。

翌年、挑んだ「栃木テックプランター」の実績を武器に...

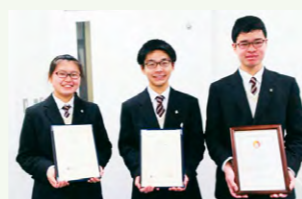
高校2年時に、宇都宮大学にて開催された「栃木テックプランター」※に参加。技術と情熱を持った大人達が集まり、世の中を変える技術を本気でプレゼンしあう空間で、発表者は、大学の研究者がほとんど。矢内さんらは、高校生での唯一の発表者となり、「チームメイトそれぞれの得意分野が活かされていてすごい。」「自分たちの好きなこと、やりたい事を今後も思いっきり取り組んでほしい。」「今やっていることは本当にすごい。このまま続けていけば、大学生の研究を超えていける。」など、大学の研究者や企業、栃木県庁の方々から、高い評価を受け、たくさんのアドバイスやコメントをいただく。

そして、この研究をベースに東京大学に挑みました。

※テックプランターは、起業前の個人・ベンチャー企業を対象として、技術や情熱を持った人を発掘・育成する取り組みです。

コロナ禍で迎えた昌平祭... 実行委員長として

世界を大きく変えた新型コロナウイルス感染症。高校生活最後の昌平祭(文化祭)を盛大に盛り上げようと計画を立てていた矢先、従来の形態から大きな変更を余儀なくされました。実行委員長として、さまざまなアイデアを出し、とりまとめ、運営の舵を取ったのも彼でした。



「サイエンスキャスル」関東大会



栃木テックプランター



昌平祭(昌平文化ウィーク)実行委員 打ち合わせ

本校の中学2年生の
時間割の例です。

■の科目がIB対象科目です。

	月	火	水	木	金	土
1限	道徳	化学	体育	歴史	数学	数学
2限	体育	数学	地理	英会話	国語	英語G
3限	国語演習	英語R	国語演習	美術	英語W	音楽
4限	生物	英語G	歴史	国語演習	体育	生物
5限	数学	技術・家庭	英語G	英語G	英語R	
6限	国語	技術・家庭	数学	数学	LHR	
7限		地理			化学	

在校生の声

IB授業を本校で3年間受け、MYPを修了した生徒の声を一部紹介します

小学校の時は恥ずかしがり屋で、人前で話すのは苦手だった。クラスで何度もプレゼンテーションをすることで日本語だけでなく、英語でも人前でプレゼンテーションをできるようになった。そして、様々なことに対して、必ず自分の意見を持つようになった。その意見を交換すると友達もいろいろな意見を持っていて、しかもそれらの意見が興味深いことが多かった。

ディスカッションが多いので、いろいろな人のことやその人の立場を考えるようになった。友達に「いつも親切だね」と言われるようになってうれしかった。その友達も自分の意見を言えるようになったし、意見を言うことは大事だとわかったと言っていた。そのような友達に親切と言われてうれしかったし、お互いに励まし合うこともうれしく感じる。



生徒の学習意欲・問題意識が劇的に高まりました

生徒たちを見てみると、以前よりもいろいろと問題意識をもって、学習に取り組んでいることがよくわかります。プレゼンにも中身があり、聞く側を惹き込む力もついてきました。IB教育の特色の一つに、多様性を認識することがありますが、日本特有の教育とIB教育の違いを自然に受け入れ、これまでにない発想をする生徒も出てきています。今後は昌平だけでなく、日本全体にIBを普及させたいとの思いでさらに尽力してまいります。

教頭 IB公認 ワークショップリーダー コンサルタント 前田 紘平先生



授業を通してさまざまな力とスキルが身に付きました

中学受験を助めてくれたのは両親でしたが、その中で昌平のIB教育に興味を持ったのは私でした。どの科目の授業も自分でスライドを作って発表するのが当たり前で、座学の授業にはない「動いて勉強する」という感覚がとても楽しく、特にグループワークでの意見交換を通して、コミュニケーション力や調べ学習のスキルが身に付いたことを実感しています。小学生のときから英語が苦手だったのに、気がつけば英検2級を取得できるまでに成長しました。将来は絵本と関わる仕事がしたいと考ええるようになった私です。そのきっかけは授業でレポートをまとめる際、文章を書く楽しさを知ったからです。

高校1年生(中高一貫12期生) 矢作 陽和さん



PEP

Power English Project

パワー・イングリッシュ・プロジェクト

全校生徒が英語を得意教科にする徹底的な取り組み

「全校生徒が英語を得意教科に」を合言葉に、全校生徒を対象に本校の全教職員で取り組んでいる英語力超強化プロジェクトです。大学入試という観点から見て、文系生徒にとっても理系生徒にとっても英語力はその明暗を分けることになります。本校では英語に興味を持たせる機会を数多く用意し、英語に積極的に関わる場面も多数作っていきます。6年間一貫教育体制で英語の4技能・5領域（聞く、読む、話す[やり取り]、話す[発表]、書く）を育成します。



各種検定の取り組み

英語検定全員受験への取り組み

「中学3年で全員英検準2級以上の取得を目指す」

本校では中学・高校全体で英語検定全員受験運動を展開。全生徒が年に一度以上英検を受験する取り組みが定着しています。

「日本語禁止部屋」インターナショナル・アリーナ

本校では、日本にいながら外国空間を体験出来るインターナショナル・アリーナを設置しています。文字通り日本語禁止のこの部屋には6人の外国人教員が常駐し、英会話の授業から、放課後のESS部、英検の二次対策などを担当しています。外国人教員は一切日本語を話しません。しかし休み時間や放課後はこの部屋からたくさんの生徒たちの明るい話し声や笑い声が聞こえます。



PEPの実践と体験プログラム

ブリティッシュヒルズ語学研修

「パスポートのいらない英国留学」英国の文化・マナーに触れながら活きた英語を学び、異文化への興味を養います。

- 希望者対象(5月実施 全学年)
- 中学1年(11月実施)
- 中学2年(7月実施)



校内英語スピーチ、レセプションコンテスト

各学年で予選を実施し、上位者は本大会へ進みます。帰国生だけでなく、国内生もすばらしいスピーチを披露します。



TGG(体験型英語学習施設)

中2の体験型プログラムの一つとして2019年度より訪問。イングリッシュ・スピーカーとのやりとりやさまざまなプログラムを通じて、「わかった」「通じた」という英語のコミュニケーションの成功体験が豊富に得られます。



ボキャブラリーコンテスト

英語力の強化に単語力は欠かせません。本校では学年ごとの課題に合わせた英単語テストを年に3回、全校一斉に行います。それがボキャブラリーコンテストです。



修学旅行

令和5年度入学生よりハワイの予定。2月。5泊7日。IB/PEP/SDGsの集大成。自然/文化/歴史/持続可能性を英語で探究。



ハーバード・サマースクール in SHOHEI

2018年度より、ハーバード大学生を本校に招いて英語で学ぶ、希望者対象のハーバード・サマースクールを実施します。議論や発表が中心の授業です。



English communication TEACHERS



英語科

Mario Beck

マリオ・ベック
(アメリカ出身)



英語科

Danielle Le Sage

ダニエル・ラ・セージ
(アメリカ出身)



数学科 英語科

Rodrigo Cunha

ホドリゴ・クンニャ
(ブラジル出身)



英語科

Adam Webb

アダム・ウェブ
(ジャマイカ出身)



英語科

Rod Caldwell

ロッド・コールドウェル
(アメリカ出身)



英語科

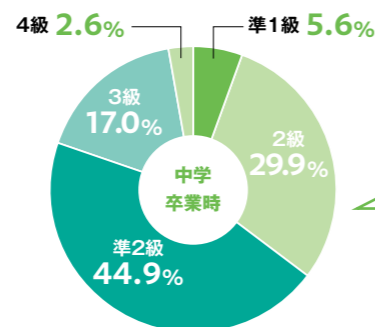
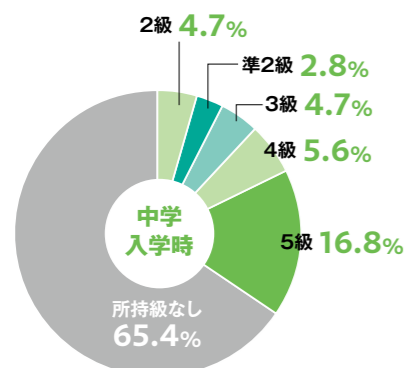
Colin Leon

コリン・レオン
(マレーシア出身)

英検取得状況

中学入学時と中学卒業時の比較 (現高1生：一貫12期生)

英検取得状況



3年間の成績

準2級以上
80.4%

オーストラリア スコッツ・スクール、サンシャインコースト・グラマースクールとの姉妹校提携

毎年夏休みには短期語学研修として、13日間の日程で10日間のホームステイをしながらスコッツ・スクールの授業に参加します。また、オーストラリアの生徒も毎年来校し、本校生の家庭にホームステイをしながら、授業に参加します。英語の時間などには生きた教材として大活躍してくれます。

- オーストラリア語学研修(希望者)
- オーストラリア姉妹校等への短期交換留学(高校生希望者選抜)
- オーストラリア姉妹校生徒等のホームステイ受入(希望者)



受け身ではなく主体的に学んでいくグラマラーの授業

私が担当するグラマラーの授業は、生徒が自ら次の単元の内容を調べてるところから始まります。例えば、「動詞の使い方を調べてきてください」と伝え、次の授業では各々が「予備知識」を持って参加してくれます。初めこそ何を書いてきたらいいかわからない生徒もいましたが、今ではそれがルールとなり、私が説明を始める頃には、文法を学ぶ姿勢が整っています。その証拠に生徒の表情も生き生きとしています。受け身の姿勢からは何も生まれません。「受け身にならず主体的に学んでいく＝自分のために英語力をつける」との意識をもって取り組んでもらっています。

英語科主任 戸恒 和香子先生



今日より明日のレベルアップを目標に頑張っています

小学校卒業時に英検3級を取得していた私は、さらなる英語力の向上を目指してPEPのある昌平を選びました。ネイティブの先生方とは日常的にコミュニケーションを取る機会が豊富にあり、昨日より今日、今日より明日のレベルアップを目標に、積極的に自分から話しかけるよう努めています。高校卒業までに英検準1級を取得することが目標です。対策用のテキストは通学中の電車の中でも手放すことはありません。授業では英語でプレゼンテーションする機会も多く、最近では話し方に抑揚をつけることも意識しながら、言葉を発表することを大切にしています。英語を使った仕事をしてみたいです。

中学3年生(中高一貫13期生) 小川 夢結さん



SDGs



持続可能な開発目標 社会とのつながりを 意識した学び

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。本校では開校以来、世界を意識し、世界を理解する力を育成する取り組みを様々な角度から進めてまいりました。校外学習、実験を中心とした体験型学習によって課題を発見し、課題解決のための企画を生徒自らが考え、奉仕活動を行い世界との関わりを考える学びを実践しています。



“届けよう、服のチカラ”プロジェクト

「世界」をテーマにしたグローバル教育の推進

世界を共通テーマにして、中学校の3年間取り組んでいきます。教員が一方的に教えるのではなく、生徒達が自ら課題を見つけて探究していくプログラムです。発展途上国について調べたり、地域の様々な問題に気づき、正解のない課題に取り組んでいきます。3年生になると自分の将来の夢をふまえ、自ら奉仕活動を考えて取り組みます。活動の中で困難に感じることもありますが、それを乗り越えることでやりがいを感じることができます。

校外学習、実験を中心とした体験型学習

大学研究室訪問から芸術鑑賞まで、多彩な体験学習が年間を通して予定されています。机上の学習では得られない感動を得られるとともに「調べる」「まとめる」「発表する」「考察する」といった学問の基本となる姿勢を身につけることができます。

世界を意識した体験型プログラム

TGG	
JICA	
外務省	

新たな発見と感動を体験

体験型プログラム・校外学習

一日がかりで出かける校外学習は、学年ごとに異なるテーマを持ち、体験を学びへと深めていきます。例えば、模擬裁判という疑似体験を通じて、刑事裁判に関わる裁判官、検察官、弁護士、陪審員の役割を理解する体験型プログラムなどです。



鎌倉散策(6月)



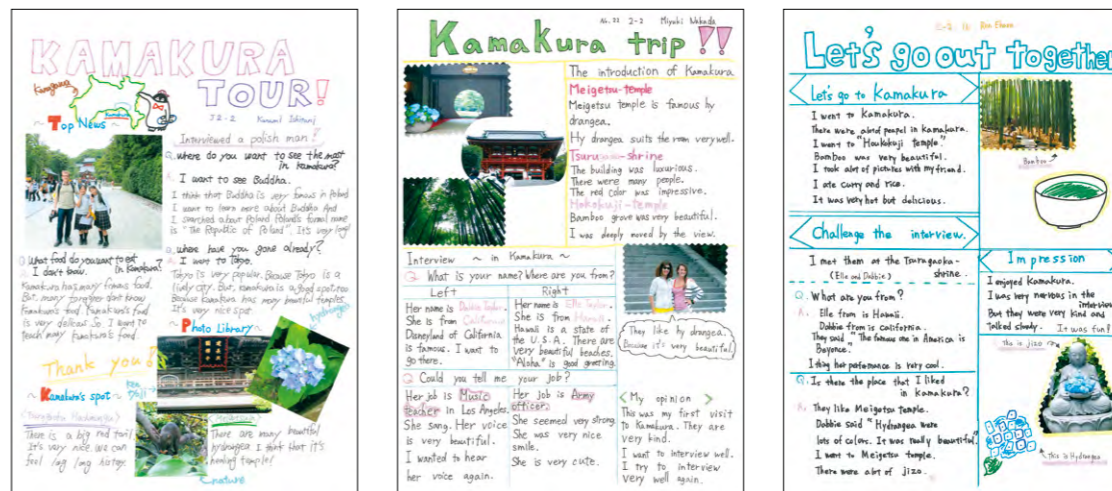
模擬裁判(7月)



参議院(8月)

体験した校外プログラムを記録に残し発表

班別研修で得た情報や体験をそれぞれが新聞形式やレポート形式で作成し、発表・掲示します。他の班から得た多くの情報も知識の源となります。



“自分の物差し”で物事を測れるグローバル人材に

SDGsを意識した学びに際し、私が最も意識しているのは、人種・民族・性別・宗教などを超越し、どこまでも“自分の物差し”で物事を判断してほしいということです。“型破り”という言葉がありますが、ただ闇雲に型を破るのではなく、説得力のある型破りも必要です。本校が用意する世界を意識した体験型プログラムや校外学習はすべて、生徒一人ひとりの独自性と説得力の高いところに視点を置いて展開しています。SDGsの目標は17ありますが、すべてを総合的にとらえる必要はなく、大事なことは、世界各地で起こっている様々な出来事から気になる点を自らフォーカスし、自分の物差しで測れることと考えています。

中学3年学年主任・芸術科主任 村上 一馬先生



在来種と外来種の共存を前提に生態系を考えています

中2のとき、ユニクロ・ジーユーが実施する「届けよう、服のチカラ」プロジェクトに参加しました。不要になった子供服を集めて回り、世界の難民の方々に届ける活動を経験して、自分たちの行動が誰かの役に立つことを実感しました。中3の「コミュニティプロジェクト」では、以前から関心のあった生物の多様性に主体的に取り組めました。外来種を単に“よそ者”として駆除するのではなく、既に在来種と外来種が相まって守られている生態系の維持について、自分なりの考えをまとめたものです。生態系に詳しい専門家の方とのオンラインインタビューを通して、独りよがりになってはいけないことも学びました。

高校1年生(中高一貫12期生) 柴田 鷹仁郎くん



進路指導

6年間一貫教育体制
昌平の学び



「主体的で自立した学び」のスタイルを確立

「学ぶ楽しさ」を知ること「基本的な生活習慣」を身につけること、多彩な体験学習を通して「主体的で自立した学び」のスタイルが確立されます。これらすべてを私たちは「学習」と捉え、一貫教育の先取り学習のメリットを存分に生かしたカリキュラムを展開し、広がりのある学習経験がダイナミックな成長を促します。また大学入試においては入試形態の多様化が進んでいます。入試問題は知識重視の出題から「思考力」や「判断力」など知識の活用性を問う内容が多くなっています。本校では、各教科でIB教育を展開することによって、「思考力・判断力・表現力」を育成し生徒が主体的・協働的に学ぶ力を養います。

中高一貫生の進路イメージ

<p>中学 1～3年</p> <p>IB (MYP) での、アクティブラーニング中心の学習によって</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学問を吸収する器を広げ、学問探究へのモチベーションを高める。 ● 柔軟な思考力・表現力・発信力などを身につける。 <p>従来型の授業にトレーニング的な要素も加え、知識などの確かな基礎学力を育成する。</p> <p>進路目標や適性に合わせて、IB (DP) クラスに進むことができます。</p>	
<p>高校 1年</p> <p>特進コース 中高一貫クラス</p> <p>IB コース IB (DP) クラス</p> <p>DPの準備 (英語強化など)</p>	
<p>高校 2年</p> <p>文系 理系</p> <p>DPカリキュラム (ディプロマ・プログラム)</p>	
<p>高校 3年</p> <p>大学入試対策</p> <p>DP 資格試験 (11月)</p>	
<p>卒業後 目標</p> <p>国公立大学 難関私立大学</p> <p>海外大学 国内難関大学</p> <p>IB 入試、 総合型選抜・ 学校推薦型選抜入試を活用</p>	

高校進学後は、「特別進学コース」または「IBコース」で学びます

国公立大の受験科目を意識し教科バランスを考えたカリキュラム編成

IB教育で修得した中学3年間の学びを生かし、生徒一人ひとりの現役合格に向けてより実践的なカリキュラムが展開されます。

※IBコースへの入学は受験結果により認められます。



学習時間の確保

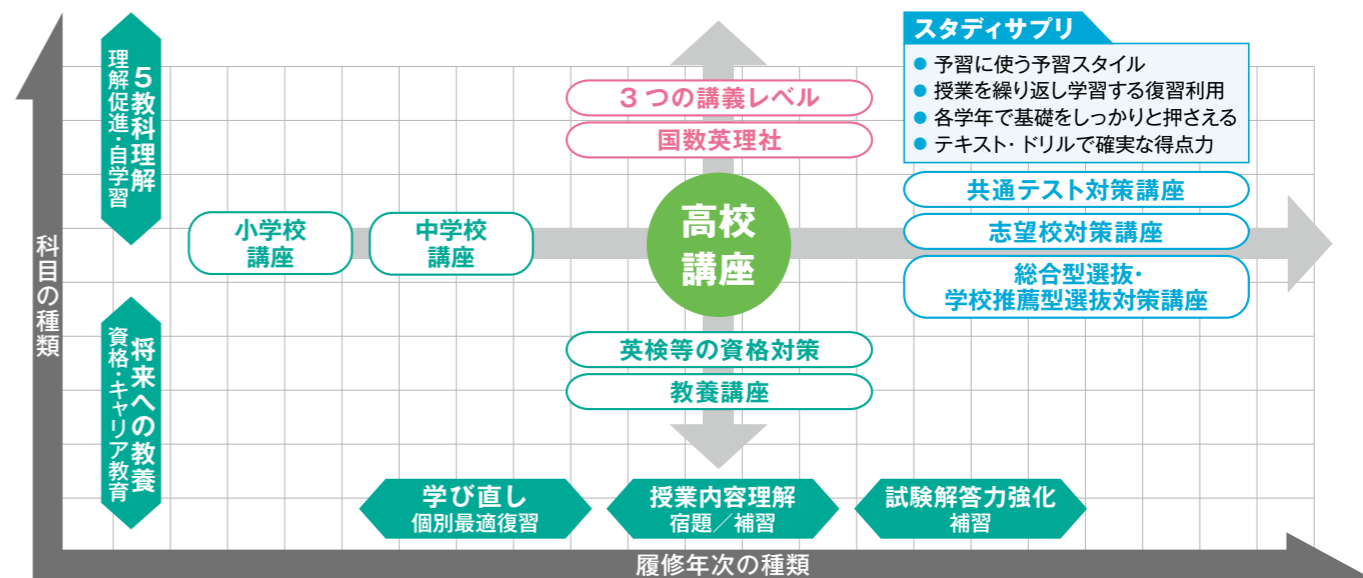
丁寧に教え、しっかりと定着させる授業を展開するために、公立中学校と比較して格段に多い授業時間数を確保。また、夏・冬・春の長期休業中は講習授業も実施します。

- 土曜日は授業を実施(第4土曜日のみ休業)
- 平日は6時間授業を基本に、週2回(火・金)、7時間授業を実施
- 講習を含む授業時間数は合計35～37時間/週
- 学習室(平日・土・日・祝日 開放)
- また希望者対象の放課後講習を8限目に実施

スタディサプリ・スタディサプリEnglish(RECRUIT)

小・中学校の復習、予習から難関国公立大学対策まで

本校では、日頃の予習・復習学習や、長期休業中の家庭学習を励行しています。スタディサプリは、小・中学校の学習から大学受験レベルまで、約3,000本の講義動画を各家庭で視聴することができます。生徒個々の学習の進捗状況に応じて、レベルに合った講義を受講することができ、授業の予習に使う予習スタイル・授業を繰り返し学習する「復習学習」にも活用することができます。また、英検対策・英語4技能の講座が受講可能(スタディサプリEnglish)です。



(資料 RECRUIT/スタディサプリ)

地域医療に貢献する信頼の医師になることが目標です

通学中の電車の中でも「ユメタン」を活用した英語の勉強に力を入れています。教科ごとの小テストも日々のスケジュールに入っているため、教科書を軸にした自宅学習も日課にしています。最近意識してハイレベルな幾何の問題にもチャレンジしています。そんなリズムカルで規則正しい生活を送る中で、以前より確かになってきたのが医師として地域医療に貢献することです。開業医として地域の方々から信頼を集める父親の後ろ姿が、漠然とした憧れから明確な目標になったといっても過言ではありません。目標とする大学も最難関の国立大学と絞り込んだ今、掲げたゴールを目指して頑張っています。

中学3年生(中高一貫13期生) 島崎 隆臣くん



進路指導

高校進学後は、「特別進学コース」または「IBコース」で学びます

国公立大の受験科目を意識し教科バランスを考えたカリキュラム編成

IB教育で修得した中学3年間の学びを生かし、生徒一人ひとりの現役合格に向けてより実践的なカリキュラムが展開されます。

※IBコースへの入学は受験結果によって認められます。

自学・自習室 ~卒業生が後輩へ学習指導~

トモノカイが管理する自学・自習室を設置しています。いつでも質問に応えられます。本校の卒業生がチューターとして日曜または長期休業中でも生徒の質問に対応したり、単元別講座を開いたりして後輩へ学習指導をしています。



チューター紹介(昌平中・高卒業生)



渡辺 唯人さん
東京工業大学
工学院 情報通信系

受験生時代に自習室で勉強していて頻りにチューターに質問していました。その場ですぐに疑問が解決できたので非常に助かっていました。現在は自分がチューターとして、教科質問だけでなく普通の勉強や進路の相談などを通じて自主学習のサポートをしています。わからないところがあったり、相談事があれば気軽に利用して欲しいです。



埜坂 梨衣奈さん
お茶の水女子大学
理学部 数学科

私が高校生生のときに自習室は常に利用していましたが、勇気が出ずチューターの活用はあまりできていませんでした。同じような生徒さんのためにも気軽に接してもらえるような雰囲気作りを心がけています。微力ながらみなさんの学力向上や相談にも精一杯尽力させていただきますので、是非積極的にご利用ください。



矢内 大雅さん
東京大学
工学部
化学システム工学科

チューターはただ解き方を教えるのではなく、そのような時にヒントを与えて自力で考えられるよう手助けする存在です。自分自身が受験生の頃の体験も大切にしています。進路相談から大学生活についての話も気軽に聞けるような環境づくりを目指していますので、積極的に利用してもらえたら嬉しいです。一緒に後輩をサポートしていく仲間が増えることも楽しみです。

令和6年 昌平高等学校 大学合格実績

国公立大学
78名合格
(現役70名)

早慶上理
56名合格
(現役40名)

G-MARCH
199名合格
(現役182名)

医学部 医学科 **計7名** 順天堂大 1名・北里大 1名・獨協医科大 2名・
東京女子医科大 1名・関西医科大 1名、日本医科大 1名

過去7年 主な合格実績推移

大学	卒業年	R6	R5	R4	R3	R2	H31	H30
東京大学		1		2	2	1		2
東京工業大学		3	2	2	1	1	3	
一橋大学		1	1	1		1		2
北海道大学		2	2	1	1		2	1
東北大学		1	1	4	1	2	6	2
名古屋大学		1				1	1	
お茶の水女子大学		2	3	4		1	2	
東京外国語大学		2		3		1		
筑波大学		9	10	9	4	5	5	5
千葉大学		3	4	3	7	2	3	4
横浜国立大学		1		4		3	3	5
東京学芸大学		1	1	5	5	2	3	4
電気通信大学		2	1	4	3	2	1	1
東京農工大学		1		1	1		1	3
埼玉大学		7	7	5	14	11	7	7
宇都宮大学		6	4	7	8	15	2	1
群馬大学		3	5	6	3	2	4	
茨城大学		2	4	1	2	2		
信州大学		1	2		2	2	2	
高崎経済大学		3	2	4	7	2	5	3
東京都立大学				3	3	4		2
埼玉県立大学		10	1	9	3	7	6	4
早稲田大学		11	19	22	26	13	21	24
慶應義塾大学		6	7	4	6	7	10	5
上智大学		17	7	7	6	10	7	7
東京理科大学		22	48	47	46	48	33	19

うち中高一貫生の主な合格大学

2024年
(一貫9期生 80名)

国公立大学 17名

東京大学	1
お茶の水女子大学	1
九州大学	1
筑波大学	4
電気通信大学	1
埼玉大学	1
新潟大学	1
岩手大学	1
宇都宮大学	2
埼玉県立大学	2
高崎経済大学	1
福井県立大学	1

難関私立大学

早稲田大学	1
慶應義塾大学	1
上智大学	4
東京理科大学	3
北里大学(医・医)	1
関西医科大学(医・医)	1
獨協医科大学(医・医)	1
明治大学	9
青山学院大学	5
立教大学	3
中央大学	3
法政大学	3
日本獣医生命科学大学	1

2023年
(一貫8期生 80名)

国公立大学 14名

お茶の水女子大学	2
一橋大学	1
東京工業大学	1
筑波大学	3
群馬大学	2
山形大学	1
九州工科大学	1
新潟県立大学	1
防衛大学校	1
北見工業大学	1

難関私立大学

早稲田大学	8
慶應義塾大学	4
上智大学	2
東京理科大学	8
東京女子医科大学	1
明治大学	6
青山学院大学	2
立教大学	8
中央大学	3
法政大学	5
学習院大学	1
麻布大学(獣医)	1
北里大学(獣医)	1

2022年
(一貫7期生 68名)

国公立大学 16名

東京大学	1
東京工業大学	1
北海道大学	1
東北大学	1
お茶の水女子大学	1
東京外国語大学	2
筑波大学	2
横浜国立大学	1
東京都立大学	1
群馬大学	2(医・医1)
宇都宮大学	1
高崎経済大学	2

難関私立大学

早稲田大学	5
上智大学	2
国際基督教大学	1
東京理科大学	12
明治大学	8
青山学院大学	1
立教大学	1
中央大学	8
法政大学	11
学習院大学	1
麻布大学(獣医)	1

他多数合格



**中学受験を意識したとき
僕らは「昌平」と出合った**

舛井 大澤くんとは塾が一緒でしたね。大澤くんともう一人の友人が昌平を受験すると聞いて、私も受けようかなと思いました。

大澤 そうだったんだ。僕は家から近かったのも昌平を選んだ理由の1つだけど、在校生が楽しそうだったことをよく覚えています。

吉田 僕の場合は、幼い頃からスポーツ全般が好きで、運動の盛んな学校として昌平を勧めてくれたのが塾の先生でした。

萩原 僕の志望動機はちょっと変わっていて、親から中学受験をしようとやら高校受験をしなくてもいいらしいと(笑)。それで昌平を受けました。

白石 私の場合はいとこが昌平生で、中高一貫校のメリットを聞かされていました。

藤田 私の場合もそれに似ているかも。2個上の姉が昌平生で、楽しそうに通っていたのが印象的で、私も昌平に行きたいとずっと思っていました。

富田 学校説明会で旧の授業を見学して、それで昌平に興味を持ったのが僕の志望動機です。アクティブで楽しそうな授業を受けてみたいと思いました。

田中 私もきっかけは旧でした。国内のインターナショナルスクールに通っていたのですが、日本語で旧の授業を受けたいと、中1の3学期に編入してきました。

桑原 僕の場合は幼い頃に海外に居住経験があったので、英語の勉強をしたいと思って昌平を選びました。

針谷 私も桑原さんと一緒に、英語が昌平を選んだ決め手でした。特に英検取得に関する力の入れ方に魅力を感じたからです。

**部活動との両立に励み
それぞれの学校生活が充実**

桑原 昌平は部活と勉強の両立に励む生徒が多いですね。僕は英語力を伸ばしたくてESS部に入っていましたが、すぐに仲の良い友だちができて、ワイワイやりながら英検準1級を中学でとることができました。

針谷 私はダンス部でした。放課後は部活に集中したかったので、授業中は真剣でした。自己申告ですが(笑)。

藤田 中高の6年間を通して、生物・化学部に所属していました。初めは単に楽しそうだからといった理由で入りましたが、周りの人が生物や化学に半端なく詳しくて、いろんなことを教えてもらいました。すごくお得な部活だったと思います。

吉田 中学は硬式テニス部、高校は卓球部でした。中高共にテスト前には部活が1週間休みになるので、クラス全員がそこはもう全力で勉強していたのを見ています。それでも僕は2週間前からテスト勉強を始めて、1週間前からは「詰めチャウ」みた

いな感じで勉強との両立に励んでいました。

富田 僕の場合はパソコン部の活動が、英語に本腰を入れるきっかけになりました。

田中 え、どういうこと？

富田 高校生の先輩たちが学校行事ごとにかっこいい動画を作っているのを見ていて、どうやら英語力が上がると、パソコンもどんどんできるようになると感じたからです。英語ができないとパソコンの専門的なこともできないので、パソコンが上達したくて英語にのめりこんだという感じでしょうか。

舛井 私は中学の3年間は書道部に入りましたが、ずっと部員が私だけだったので、3年間ずっと部長でした！

大澤 それはすごい！ある意味、昌平の書道部の歴史に名を残した人ですね。

舛井 ありがとうございます。部員募集のポスターを作ったり、勧誘に走り回った3年間でしたが、残念ながら誰も入りませんでした。高校からは今までにやったことのないことに挑戦しようと思って、軽音楽部に入りました。ちなみに書道部は現在でもちゃんとあるので、ぜひ入部してください！

**面倒見の良い先生方が
ゴールまで導いてくれた**

大澤 皆さんの受験勉強はどんな感じでしたか？僕は中学生のときから「東大をめざします」と半ば公言していました。それに対して

先生方は誰一人、「きみには無理」なんてことは言わず、どの先生も僕に会えば必ず「頑張ってる？」とか、近況を聞いてくれました。それだけが本当に嬉しくて、日々のモチベーションになっていました。

白石 高2のときから担任の先生が定期的に、1対1の進路相談の場を設けてくれました。大学情報の集め方もよくわかっていなかった頃でもあったので、「どんなことがいいんじゃないか」と、そんなふうの一つひとつ聞いてもらった結果として、今の法学部進学があります。

舛井 私の場合は学校推薦型入試だったので、先生方には小論文の添削と面接の練習でお世話になりました。特に小論文は英語と国語と生物を混ぜたような複雑な問題形式で、しかも赤本に答えが載っていないという状況だったので、先生方による添削指導は本当に助かりました。

富田 僕は共通テストで受験したので、2月、3月は本当に孤独でした。もちろん話を聞いてくれる友人はいましたが、友人は友人で大変だし、馴れ合いの状態を受験すればあまり良い結果にならないことはわかっていたので、じっと耐えていた感じでしたね。そんな時、担任の先生が声を掛けてくれた。自分のそれまでの模試のデータなどを見ながら、最後まで励ましてくれました。本当にありがたかったですね。

田中 私は今でこそ医学部に進学していますが、転入したばかりの頃は英語の文法が苦手で、見かねた担任の先生が放課後に、マンツーマンで指導してくれました。そこからですね、英語の力がどんどんついてくるようになったんです。インターナショナルアリーナの先生方に、英検の面接や添削でとことんお世話になったことも忘れられません。中学卒業までに英検準1級を取得できたことが自信となり、大学受験にも堂々と臨めるようになりました。

吉田 僕は初めからみんなと一緒にクラスではなく、先生から「上位のクラスに行ってみないか？」と声を掛けられたのを機に、発奮して大学受験というゴールを目指すことができたと思っています。みんな優秀だから、絶対に負けたくないという気持ちで頑張ることができました。

萩原 僕も吉田くんと同じで、上位クラスのみんなと一緒にいることをきっかけに、そこから進路を真剣に考えるようになりました。推薦では残念ながら不合格でしたが、そこから共通テストの勉強に切り替えて、第一志望の芸術系に行くことができました。

田中 実は私も萩原くんと同じで、推薦で不合格になり、その瞬間から共通テストの勉強に切り替えました。同時に私立の受験対策も加えた状況で頭の中はごちゃごちゃでしたが、切り替えた瞬間から

先生が徹底的に寄り添ってくれたことに感謝しています。

桑原 昌平の先生方の面倒見の良さは、僕も心から実感できるものです。受験は確かに不安なものです。塾や予備校に通うことなく、昌平の中で受験対策ができるという環境については、僕も感謝がありません。

針谷 面倒見の良さは日本人の先生方だけじゃありません。私は学校推薦型入試での受験でしたが、海外に出たこともなく、英語を喋ることに不安を抱えていた私に、ずっと付き合ってくれたのが6人常駐している外国人の先生方でした。最後の頃には自分から「英会話の練習をお願いします」と、声を掛けるまでになっていました。

藤田 物理がちょっと苦手だったのですが、単元ごとに問題集を作ってくれる先生がいました。「今度はこれやってごらん」と。そんな優しい先生に対して、絶対に合格を報告しなきゃいけないと、そんな気持ちで最後まで頑張ることができました。

舛井 先生方にしっかり見守られた結果として、私たちの今があるということですね。

吉田 6年間でできた友だちも宝物です！

萩原 学校行事も楽しかったので、今度は卒業生として、みんなで9月の昌平祭に集まるっていうのは、どう？

一同 そうしましょう!!!

CONVERSATION [卒業生を迎えて (令和6年卒)]

一つの道を究めていく自分であり続けたい

東京大学 数理科学研究科 数理科学専攻在学中
京都大学 理学部卒業 軽部 友裕さん
2期生(平成29年卒)



純粋数学の中の代数幾何について研究を続けています。とはいっても初めから数学が得意だったわけではなく、国語や歴史が好きでした。そんな私に、数学のおもしろさを教えてくれたのは昌平の数学の先生方です。答えを導き出すプロセスが、好きなディベートと重なる点に気づいたのも興味深い点でした。自分と先生の異なる考え方を議論という場に昇華させ、双方納得いくまで対論する時間は貴重なものでした。予備校に一度も通うこと

なく、常に先生と一緒に好きなことを追いかけることに感謝しています。私には今、海外の研究集会に参加する機会があります。世界各国の数学者と出会うことができるというある種のときめきは、どこか中高時代のホームステイ経験とも似ているものです。これからも新たな出会いを自身のキャリアデザインと融合させながら、一つの道を究めていく自分であり続けたいと思っています。

きっかけは廊下に貼り出されたポスターから



お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻 生命科学コース在学中
お茶の水女子大学 理学部2類 生物学科卒業 郷間 葵さん
2期生(平成29年卒)

中学生のある日、廊下に理化学研究所(理研)のポスターが貼り出されました。研究室の一般公開の告知でした。興味を抱いて参加しましたが、豊富な知識を身につけた研究者の言葉に感銘を受け、見たことのない機器や設備が揃う空間に魅了され、自分もこんな場所で研究したいと思ったのが今の私の原点です。以来、本当に勉強だけに集中できる環境を先生方が提供してくださり、「女子大」という選択肢を薦めてくださったのも先生方でした。大学

で生物学を学んだ私は今、大学院生となり憧れの理研で研究できる環境の中に身を置いています。テーマは神経生理学で、脳脊髄液など脳内にある“水”の流れから、アルツハイマー病などの発生要因を分析しています。このままアカデミアで進むのか、民間企業の研究者としての道を歩むのか、選択肢は複数ありますが、自らの研究を社会でどう役立てていくのか、じっくり考えていきたいです。

次世代のために役立つ施策の実現に努める

財務省勤務 榎村 周さん
東京大学 経済学部卒業 3期生(平成30年卒)



持続可能な社会を創る一助になりたい、次世代の代弁者として尽力したいと、そんな未来を思い描いていた私にとって、財務省が掲げる組織理念「国の信用を守り、希望ある社会を次世代に引き継ぐ。」は魅力あるものでした。理念に共感して入省した一人として今、大きな使命を感じて働いています。中学の思い出の一つが、毎朝10分の朝読書です。読書好きな友人に刺激を受けて本を読むようになり、いつしか互いに好きな本を交換

して読み合う仲になりました。そのようにしっかりと“読み込んだ”経験が、読解力につながり、文章の表現力につながったという手ごたえがあります。中学の3年間、かなり本を読んだ記憶がありますが、そのような読書習慣が、大学生になっても、社会人になっても、生きる上での確かな基盤になっていたことは間違いありません。これからも次世代のために役立つ施策の実現に努めてまいります。

中外製薬株式会社勤務
横浜市立大学 データサイエンス学部 データサイエンス学科卒業 植村 直紀さん
3期生(平成30年卒)

未知なる道に進むべき軌道を見つけた瞬間



私が高3の頃、世の中に「データサイエンス」「ビッグデータ」という言葉が流行り出しました。もともとプログラミングに興味があった私ですが、未知なる道の中に自分の進むべき軌道を見つけた瞬間といっても過言ではありません。そういえば中学のプロジェクト学習(現SDGs)の時間に、自分の将来についてじっくり考えた時間がありました。中学生の私にとって、仕事と社会貢献を同時に考えることは決して簡単ではありませんでしたが、そういった

土台があったからこそ、大学進学時に迷わなかったのではないのでしょうか。大学院での研究は大学院では生物統計学という、統計学を医学分野に応用した学問領域を研究しました。研究の経験を生かし、この春から中外製薬に入社しました。今後は生物統計の専門家として、患者中心の想いを忘れず誠実な仕事をしていきたいと思っています。

先生方と共に“昌平を作って”きた2期生の誇り

味の素株式会社勤務 瀬田 奈々さん
一橋大学 社会学部卒業 2期生(平成29年卒)



帰国子女枠で入学して以来、どの先生というよりも、すべての先生に面倒を見ていただいたというのが実感です。私たちは開校から間もない2期生ということもあり、先生方と共に昌平中学を作ってきたという誇りもあります。先生方とはとにかく生徒一人ひとりの考え方を尊重し、何をいっても絶対に否定されることはありませんでした。そんな距離感の近さがたまたま好きで、つつい職員室を訪ねては、先生方と一緒にの時間を楽しむ私になっていました。

思い出深いのは校外学習の数々です。古墳に行ったり、大使館を訪ねたりと、自分の目で見て、社会に触れて、リアルに世の中を学んだ経験はとても貴重でした。中高時代はダンス部、大学ではチアができる応援部に入りましたが、「人を笑顔にしたい」という想いはどちらも共通しています。今は食品という人々に愛されるフィールドを通して、世界中の笑顔を支える仕事をしています。

海上保安庁勤務 管制官 小関 龍明さん
2期生(平成29年卒)

「先輩ぶるな。先輩らしくいる」は永遠の指針

中学・高校の6年間、集団スポーツのおもしろさ、すばらしさに目覚めてラグビーに夢中でした。在校中は県2位、準優勝が最高位でした。ただ私たちの1学年下の代から花園に行くようになり、悔しさ以上にそのベースを作ることができたという充実感もありました。学年が上がり初めて後輩を教える立場になった時、ラグビー部の監督からよくいわれた言葉は、「先輩ぶるな。先輩らしくいる」でした。異学年が心をつなぐラグビーと向き合っていく中で、

その金言はやがて私の生き方とリンクするものになっていきました。母の願いでもあった海上保安庁への道を選んだ際、集団スポーツの中で培われた経験を発揮できると考えた自分がいました。今いる職場も基本、集団で行動します。後輩もたくさんいる中で思うのは、やはり「先輩ぶるな。先輩らしくいる」です。人生で一番成長できた6年間に感謝しています。



刺激のある環境に身を置いて成長できた6年間

楽天グループ株式会社勤務 大堀 桃花さん
上智大学 外国語学部 英語学科卒業 3期生(平成30年卒)



英語圏からの帰国子女の私にとって、英語教育と国際教育に力を入れている昌平の学校生活は居心地の良いものでした。英語力を“生きたままの状態”で残してくれ、プラスアルファでさらに伸ばしてくれた環境に、とても感謝しています。そもそも昌平が求めるレベルは高いです。課題も多い学校ですが、なぜか先生方は「これ明日までね」と、普通の顔でいいます(笑)。ハイレベルな課題をこなすため、自ずと自分の中でしっかりと計画を立てるように

なり、すべてやり切れたという経験は、社会人となった今でも生かされています。「基礎があれば応用できる」。どの先生からもいわれたアドバイスを実感する日々です。自分よりもすごい人が周りにいる環境を求め、今の職場に入りました。現在は社長直下のプロジェクトに携わっており、常に刺激のある環境に身を置いています。実はこれ、昌平の6年間とも相通じるのでおもしろいです。

東京大学大学院 総合文化研究科 国際社会科学専攻 国際関係論コース 修士課程在学中 吉田 莉々さん
5期生(令和2年卒)

大学に向けて“押し出してもらえた”ことに感謝

生徒にやる気があれば、それに対してきちんと応えてくれる環境が昌平にあります。生徒会もチアも全力でやり、そのうえで「東大に行きます!」と、発信した私を受け止めてくれたのも先生方でした。大学で国際関係論を専攻する私は、イランのインターナショナルスクール出身ということもあり、国際社会におけるさまざまな出来事に関心を持っています。とはいっても、自分の好きなことをカタチにするのは決して容易ではありません。中高時代

の6年間に、どれだけのエネルギーを自分の中に蓄積できるかが問われるからです。仮にエネルギーが不足すれば、なんとなく4年間が終わってしまうかもしれません。私の場合は多様なエネルギー体験を“好きのチカラ”に変えて、エネルギーとして蓄えることができました。それを支えてくれたのは面倒臭い良い先生方です。大学に向けて“押し出してもらえた”ことに感謝しています。



GRADUATES [卒業生からのメッセージ]



本当のコミュニケーション力の育成

～知識と実践の融合～

言語を習得するためには、24時間の生活の中でその言語を使う時間を増やす必要があります。授業だけで知識を頭の中に残すことができても、せっかく身につけたものを「使う」ことをしないとその知識は頭の中で徐々に消えてしまうのです。努力して身につけた知識を無駄にしないために、昌平中では日常生活の中で英語を使う機会がたくさんあります。また、「英語G(文のルールを学ぶ)=知識」と「英語R(IB)=実践」の授業があります。常に文だけを見るのではなく、そこに書かれていることをイメージすることが英語を使えるようになるためには大切です。

今、世界で必要とされるのは「コミュニケーション力」を持っている人材です。「コミュニケーション力」とは何でしょうか？これから世界で活躍する皆さんが間違った英語を堂々と話すことはとても恥ずかしいことです。正しい英語を身につけてこそ、世界中の人々に自分の考えを伝えたり、人の考えを正確に受け取ったりすることができます。そのやりとりが「本当のコミュニケーション力」なのです。

入学してくる生徒はほとんどが小学校の授業で英語をやっただけの人です。むしろ、最初の1歩からきちんと英語を学んでいく方法を身につけることができます。目標を持ち、努力をしている昌平中の生徒達の表情は、生き生きと自信に満ち溢れています。そして楽しそうです。これこそが英語学習の目指すところと言えます。

ENGLISH 英語

論理的思考力・表現力の確立

たとえば、山を見たら春でも夏でも「きれいだ」としか言えない人と、「山(が)笑う」「山滴(したた)る」という言葉を知っている人では、同じ山を見ていても見える景色がまったく違います。「豊か」という言葉を使うなら、どちらの景色がより豊かか、言うまでもないでしょう。豊かに言葉を知ると、そうでない人と、同じことが人生についても言えます。もちろん、言葉の豊かさは数だけではありません。言葉は、確かにコミュニケーションの手段ですが、それ以上にその人のものの考え方やとらえ方を決める重要なものです。特に母語、今これを読む多くの人にとっての日本語、教科としては国語、それは皆さんの考える力、ものを見る力を支える大切なものです。私たちはそのことを念頭に国語の指導にあたっています。

まずはさまざまな文章に触れ、そこに表現された世界を正しく受け取る力を養います。身体は現実の制約を受けますが、言葉は時空を超え、実に多様な世界を見せてくれます。読書を大いに推奨します。そして、感じ考えたことを表現してみることで、効果的に表現する力を養いましょう。

表現しようとすることで考えがまとまることもよくあります。昌平では、他校にはないIBに基づく論述や発表のほか、ディベートやピブリオバトル(書評合戦)等の言語活動を活発に行います。漢字や語句の小テストはもちろん、大学受験に必要な古典分野も中学3年までに高校1年程度まで行います。様々な社会的・文化的事象への興味関心、論理的思考力、豊かな感情、表現力、正しい言語知識。要求されることはたくさんですが、それらは他ならぬあなたの人生を彩りのあるものにきっとしてくれます。豊かな学びをしましょう。

JAPANESE 国語



学びの極意 ～考え・楽しむ力の育成～

数学嫌いをなくし、好きになってもらう。さらに得意科目になるように、分かりやすく興味を持てる授業を展開します。生徒一人ひとりのレベルに合わせてきめ細やかな指導、実践的な演習問題を中心に、しっかりと基礎力を養成。中学3年の段階から高校の教科書の内容を積極的に取り入れていきます。誰が解いてもちゃんとした手順を踏めば理に適った結果が必ず得られ、かつ多くの事柄の確認が紙と鉛筆だけでできる面白さにあふれた教科、それが数学です。

そうした教科の特性を生かし、「こういう考え方をするとこうなる」「こんな工夫もできるんだ」と考えて勉強を楽しむ力を養ってほしいと考えています。また「何故そうなるのか？」が相手に伝わる形で記述することが伝える力にもつながります。

数学 MATHEMATICS

暗記や詰め込みにならない、 実生活に繋がる学習をします

理科は、「私たちの身近にある科学」を学ぶ教科です。ですから、学習内容に対する興味・関心こそが勉強する原動力になります。従って、中学では教室での授業だけではなく、実験や観察、自然に触れる機会を多く取り入れ、理科に対する興味関心の芽を育むことを重視しています。

特に実験においては、単に現象を観察するだけではなく、学年が上がるに従って、予想や仮説に基づいた実験の組み立てや、レポートの書き方といった指導も行っていきます。知識の詰め込みによる暗記科目にすることなく、興味関心を持たせ、現象やしぐみを理解することを重視しています。

理科 SCIENCE



自分の目で社会を見る姿勢を育てる

「世界」について考えるとき、あなたはどのような世界を想像するでしょうか。一言で世界と言っても、その捉え方は様々です。日本から見た世界、地図として捉える世界、一つの地球としての世界。どの視点から世界を見るのかによって、得られる情報は大きく異なります。しかし、その情報はどれも間違いではなく、それらを正しく認識し、受け入れる姿勢が重要となります。

本校の社会科は、「自分の目で社会を見る姿勢を育てる」ことを目的とした授業を行います。授業では、分析の際に必要な知識を習得することを第一に、時事問題など身近なテーマを取り上げていきます。その際、自分の中に生じた「なぜそうなるか」という疑問について考えることで思考力を育て、意見をまとめ表現することを促します。そして、仲間と議論をし、理解を深めていく中で、問題解決能力を身につけることを目指します。

社会 SOCIAL STUDIES



TEACHERS

各教科からの
メッセージ



8:20

登校

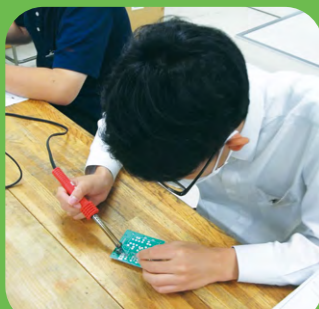
中学校専用のスクールバスが久喜駅、杉戸高野台駅から運行しています。学校まで直通なのでアクセスは抜群です。自宅が近い生徒は自転車通学もできます。



8:40

始業時間

朝読書は始業前10分の時間を使って、自分の好きな本を思い思いに読みます。毎日習慣づけることで、集中力、読み書きの能力、語彙力が身に付きます。



8:55

第1時限目「技術」

エネルギー変換の授業の中で、限りある資源の大切さを学びます。持続可能な太陽光エネルギー・手動発電によるダイナモワイヤレスラジオを製作します。



9:55

第2時限目「数学」

授業では、先生にただ教えてもらうだけでなく、グループや個人で考えることが多く、考える力が身に付きます。また、自分で問題を作ったり、解き方を説明します。



10:55

第3時限目「国語」

国語は「演習」の授業でした。演習では正しい国語の知識や読解を身につけます。普段の自分の読解や語彙の選択が厳密でないことに気付かされます。



11:55

第4時限目「英語R」

IBプログラムを用いたこの授業では生徒は様々なテーマについて探究し、自分の英語で考えを表現する活動を行います。



12:45

ランチタイム

お弁当を持参する生徒がほとんどですが、売店でもお弁当やパンを買うことができます。



13:30

第5時限目「体育」

午後の体育。本校の体育は人工芝の広いグラウンド、体育館、サブアリーナの各施設で様々な種目を思いっきり学び、楽しむことができます。



14:30

第6時限目「社会」

その土地の産業や特色などをレポートにまとめ、クラスメイトに配り、発表をします。その後の質問に備え、不足のないレポートを作成し、的確な返答を心がけます。



15:45

放課後

放課後はそれぞれの活動場所へ。人工芝のグラウンドでのサッカーをはじめ、体育館、サブアリーナ、理科室、日本語禁止部屋などでたくさんの生徒が活動しています。



17:55

最終下校

最終下校は17:55です。スクールバスで久喜駅、杉戸高野台駅へ向います。友達と話しながらの下校。昌平の友達は「言いたいことが言える」仲間です。

TIMETABLE

SHR	8:40～8:50	第5時限目	13:30～14:20
第1時限目	8:55～9:45	第6時限目	14:30～15:20
第2時限目	9:55～10:45	第7時限目 (火・金)	15:45～16:35
第3時限目	10:55～11:45	放課後・部活動	
第4時限目	11:55～12:45	最終下校	17:55
ランチタイム・ 昼休み	12:45～13:30		

大きな可能性にチャレンジする部活動

CLUBS



運動部

- サッカー部 (男子)
- バスケットボール部
- 陸上部
- 硬式テニス部
- バドミントン部 (女子)
- ダンス部
- ラグビー部
- 剣道部

文化部

- 吹奏楽部
- 美術部
- パソコン部
- 鉄道研究同好会
- ESS部
- 華道部
- 社会歴史研究部
- 茶道部
- 書道部
- 生物・化学部
- 写真部
- 菓子研究部
- 囲碁・将棋部
- 英語学習クラブ
- イラスト文芸同好会
- クイズ研究部

POINT

フォーサイト

～自己管理能力を育み、自ら学び、考え、行動できる人づくり～

自らの行動に対して常に振り返り、改善して行動できる姿勢を養成します。今日することを自ら記入し、確認することで、「書く能力の伸長」・「規則正しい生活習慣の確立」・「自発的な家庭学習の定着」を涵養します。また、毎日の提出で担任よりアドバイスをもらい、「つまずきの早期発見」「次の指針の設定」を見つけ出すことができます。



SCHOOL LIFE [昌平の一日]

4

APRIL

- 入学式
- 始業式
- 対面式
- 体力測定
- 定期検診
- 校外模試
- 課題考査



5

MAY

- プリティッシュヒルズ語学研修(希望者)
- 前期生徒総会
- 中間考査
- 体育祭



6

JUNE

- 校外学習
- 第1回英語検定
- 林間学校(1年)



7

JULY

- 期末考査
- 終業式
- 夏期講習
- プリティッシュヒルズ語学研修(2年)
- 三者面談
- ポキャブラリーコンテスト

8

AUGUST

- オーストラリア語学研修(希望者)
- ハーバード・サマースクール in SHOHEI
- 学習合宿(3年希望者)
- 夏期講習



9

SEPTEMBER

- 始業式
- 夏期課題考査
- 昌平祭
- 英語レシテーションコンテスト
- 避難訓練



10

OCTOBER

- 中間考査
- 第2回英語検定
- 後期生徒総会
- 校外模試
- 授業参観

11

NOVEMBER

- プリティッシュヒルズ語学研修(1年)



12

DECEMBER

- 期末考査
- 球技大会
- 終業式
- 冬期講習
- GTEC
- ポキャブラリーコンテスト



1

JANUARY

- 始業式
- 校外模試
- 第3回英語検定



2

FEBRUARY

- 合唱コンクール
- スキー教室(2年)
- 海外修学旅行(3年)



3

MARCH

- 学年末考査
- 芸術鑑賞会
- コミュニティープロジェクト発表会(3年)
- 修了式
- 卒業式(3年)
- ポキャブラリーコンテスト
- 春期講習

POINT プログレスノート

校外学習など体験型プログラムを経験しノートに書き記すという取り組みです。林間学校で書き方などを学習し、一人ひとりがオリジナリティあふれるページを作成します。様々な行事や体験を書き記し、「調べる⇒記録する⇒振り返る」を継続することによって、生徒個々で、「自己の進歩」を確認することができます。



目標になる人たちが周りにいる環境に感謝しています

英語が好きな私はESS部に入っています。新年度は大勢の1年生が入部し活気づいています。英語を日常的な言語として積極的に活用することが、ESS部員としての私のこだわりです。自分から英語で語りかけることから始まる素敵なコミュニケーションを、部の後輩たちと一緒に楽しんでいます。同級生には既に英検2級を取得した友人もいれば、さらに高いレベルに目標を掲げて頑張っている部の先輩もいます。そういった良い刺激を受ける環境が身近にあるのもいいですね。「あぁなりたい」と思える人が常に周りにいる昌平の学校生活は、負けず嫌いの私にとってどこか居心地の良いものでもあります。

中学3年生(中高一貫13期生) 島田 沙奈さん



SCHOOL LIFE [年間行事]

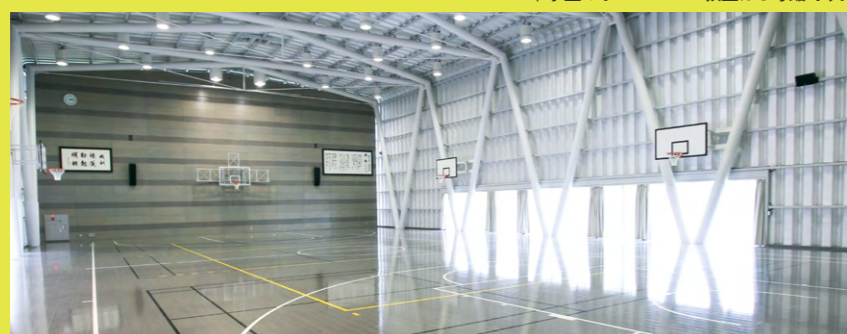


3号館



※中学生のホームルーム教室は3号館です。

サブアリーナ



人工芝グラウンド



SCHOOL FACILITY [施設設備]



フォーマル

WINTER

男女共冬服は格調高い2ボタンのスーツスタイル。色は落ち着いたグリーン。ネクタイは、スクールカラーを基調とした落ち着いたグリーンです。女子はスラックス・スタイルもあります。



スポーツウェア

GYM CLOTHES

全体的にグレーでまとめられたスポーツウェアはスタイリッシュなデザインです。半袖・半ズボンには吸汗速乾素材でさらっと着用でき、1年を通して快適です。



コート

COAT

ピーコートタイプのコート。すっきりしたシルエットとクラシカルなボタンが特徴です。



ポロシャツ

POLO SHIRT

ボタンダウンで襟元もきっちりしたスタイルです。袖にはオリジナルの刺繍が入ります。生地は、吸汗速乾機能で汗をかく夏場でも快適に着用できます。



フォーマル

SUMMER

通気性に富んだワイシャツとブラウス。女子にはライトグレーのベストとおしゃれで清楚なチェックスカートが用意されています。女子はスラックス・スタイルもあります。

MESSAGE

「将来の夢は!」と聞かれたとき、あなたはどのように答えますか。学校はお互いの夢を語れる場であるべきだと私は常々考えています。中学と高校の6年間は、心身ともに大きく成長する時期であり、大きな夢を抱いて純粋にその実現に向かって努力できる、一生の中でも大きな機会でもあります。

昌平中学はIB(MYP)教育[International Baccalaureate(Middle Years Programme)]を導入しており、自ら考え行動できる国際的な視野を持つ人材の育成に力を入れています。また、PEP[Power English Project]と称して、生徒達の英語力強化に全ての教員が関わり、世界で活躍できる人材を育てることを目指しています。これらの取り組みは、皆さんが抱く夢を実現するために必要なスキルを身に付ける手助けになると確信しています。

学校は人を育てる機関です。人を育てるとは、卒業後20年・30年と年を重ねた時に、自分の人生が輝いていると感じられるように、その礎を学校でしっかり築くことだと考えます。

さあ、皆さん。これから自分の人生をデザインしましょう。ワクワクしてきませんが、昌平中学校でお待ちしております。

校長 村田 貴也



SCHOOL UNIFORM [制服]